

Wonderland Series 《はじめに》

English in Action Series を使って英語と触れあうお兄ちゃんやお姉ちゃんの様子を見ていた妹や弟たちが「私たちも英語で遊びたい」と言い始めました。今から 20 年以上前のことです。6 歳前後の子どもたちに、いきなり *English in Action* で英語と出会わせるのは可哀そう、幼児期を脱したばかりの子どもたちが楽しめる教材を、ということで生まれたのが、この *English in Wonderland Series* です。

English in Wonderland (Green Book)

Welcome to Wonderland (Red Book)

Welcome to Wonderland (Blue Book)

の 3 種類のテキストがあり、副教材として、着せ替えシール、ワークシート、カード類があります。

これを手にしたあるコンピュータ技師が、これは是非電子機器で遊べるようにするとよい！とおっしゃってくださいました。この度、それが実現して、デジタル教材として皆様のお手元に届けることができるようになったのです。英語は使いながらでないとな身に付かない、使いながら知らず知らずのうちに覚えてしまうのは、子どもだからこそできること、そういう思いで今度のデジタル化が進みました。この教材に触れていく子どもの姿を見守ってください。

◎ **Wonderland Series** この不思議な英語の世界で「やっておきたいこと」

English in Action で英語を学び始める小学校中・高学年の子どもたちは、そろそろ理屈っぽくなって、英語のことばとしての仕組みを知りたがったり、自分がどの位英語を使えるようになったかを自分で見極めようとしています。その子どもたちの「日本語と同じくらいに英語も使えるようになりたい！」という気持ちに答えるために、*English in Action Series* では、レッスン毎に少しずつ進歩の後が見えるように構成されています。

このような学習意欲が芽生える前に、自由奔放に英語と出会い、楽しみ、英語のおもしろさを全身で感じ取ってもらいたい、英語の不思議な世界で“英語らしさ”を体感して欲しい、というのが *English in Wonderland (Green Book)* 制作の意図でした。そして、この不思議な世界に、どうぞいらっしやい！というつもりで、*Welcome to Wonderland (Red Book)* と *Welcome to Wonderland (Blue Book)* の 2 冊を作りました。

Welcome to Wonderland (Red Book) では、英語の手遊びや、何処かで聞いたことのあるようなメロディの歌を歌ったり、日本語の絵本で読んだことのあるお話のキャラクターに出会ったりしながら、何度でも好きなだけクリックして、語りかけてくる英語を聞いてく

ださい。全部分かることは二の次、三の次です。聞いているとおもしろい、あれ？金太郎って言ったみたい、本当かな？ もう一度確かめよう！ という具合に繰り返し聞きながら楽しんでくださればいいのです。

Welcome to Wonderland (Blue Book) もう少し、そんな気楽な気持ちで英語を楽しみたい時に、お役に立つと思います。クリックして英語で語りかけてくるお話を聞きながら絵で確認してください。何となく分かるような気がする、というのがいいと思います。「何だか、そんなことらしいよ」という気分で、英語を聞き続けられると、子どもの心の中に英語の種が膨らんで、もそもそと口が動いてくることもあるでしょう。メロディを真似ることもできるかも知れません。これは、2, 3歳の子どもたちが母語を覚えるプロセスとそっくりです。

English in Wonderland (Green Book) さらに英語との“お友だち関係”が濃くなってきたら、少し長い時間英語を聞き続けることができるようになるでしょう。そんなときに、絵を眺めながら、子どもたちは想像の世界を繰り広げて、自分でもお話を作ったりしながら英語を聞いてくれるようになります。アルファベットが言えるよ！曜日の名前を覚えたよ！さるかに合戦のお話知ってるよ！と子ども自身が発見していけるように、英語でのやり取りを進めていけるといいと思います。

このような段階を経て、ある日、***English in Action*** に出会ってくださると、「あっ、そういうことだったんだね！」と納得のいくことをたくさん発見するでしょう。

これから続く長い人生の間に、母語だけでなく、外国語とつき合う方法を知っていてよかったと思うことがあるでしょう。“英語らしさ”と上手に向き合うことができると、これからの英語学習に対する抵抗感が薄れて、深入りすることもできると思います。そういう道案内をこの ***Wonderland Series*** で経験して頂きたいと願っています。